

調査の概要について

1. 目的

小山市では、市の交通政策の基本的な考え方を示した「小山市総合都市交通計画」を平成 16 年度に策定し、それに基づき市内の交通課題に取り組んでいるが、計画策定から約 15 年が経過し、この間、北関東自動車道の全線開通による国道 50 号の利用形態や圏央道一部開通による新 4 号国道沿線の立地利便性の向上、さらに拠点の新設・再構築など、交通と土地利用の変化により交通配分が変化してきています。

こうした中、今後の人口減少・超高齢社会を見据え、土地利用計画と都市交通計画の連携による効率的かつ重点的な都市整備を推進するためには、「小山市総合都市交通計画の見直し」として、道路交通ネットワークの見直し、少子高齢化に対応した公共交通サービスの充実（新交通システム導入検討を含む）、中心市街地活性化の支援などの都市交通課題への対応が必要です。

そこで、交通実態調査としてパーソントリップ調査を実施し、その結果をふまえて交通体系の基本方針を立案し、道路網・公共交通・自転車・徒歩交通に関する基本計画を立案し、総合的な都市交通計画を策定します。

2. 小山市の交通の現況

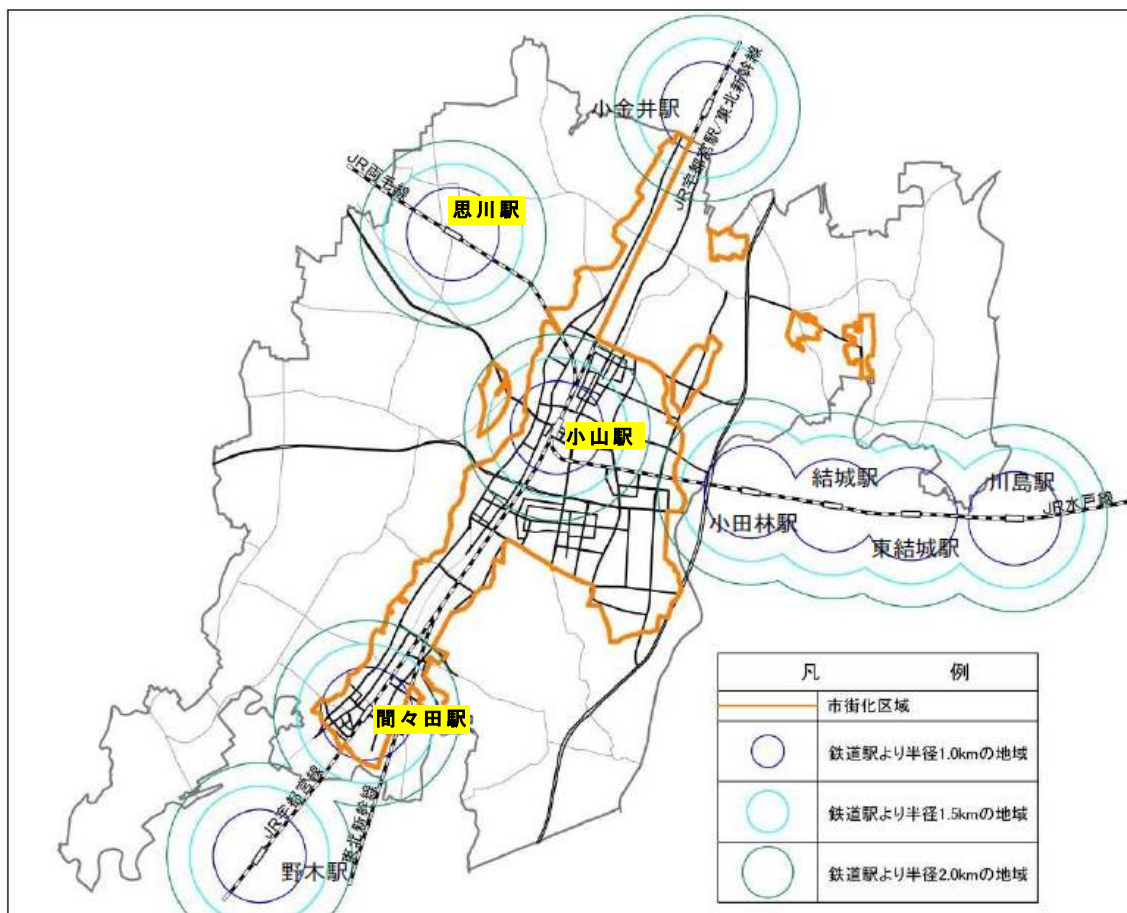
(1) 公共交通の現況

① 鉄道

・市内の鉄道路線は、市域中央を縦断する JR 宇都宮線及び JR 東北新幹線、小山駅から西の栃木市・佐野市・群馬県方面へと至る JR 両毛線、東の茨城県結城市・水戸市へと至る JR 水戸線の 4 路線です。

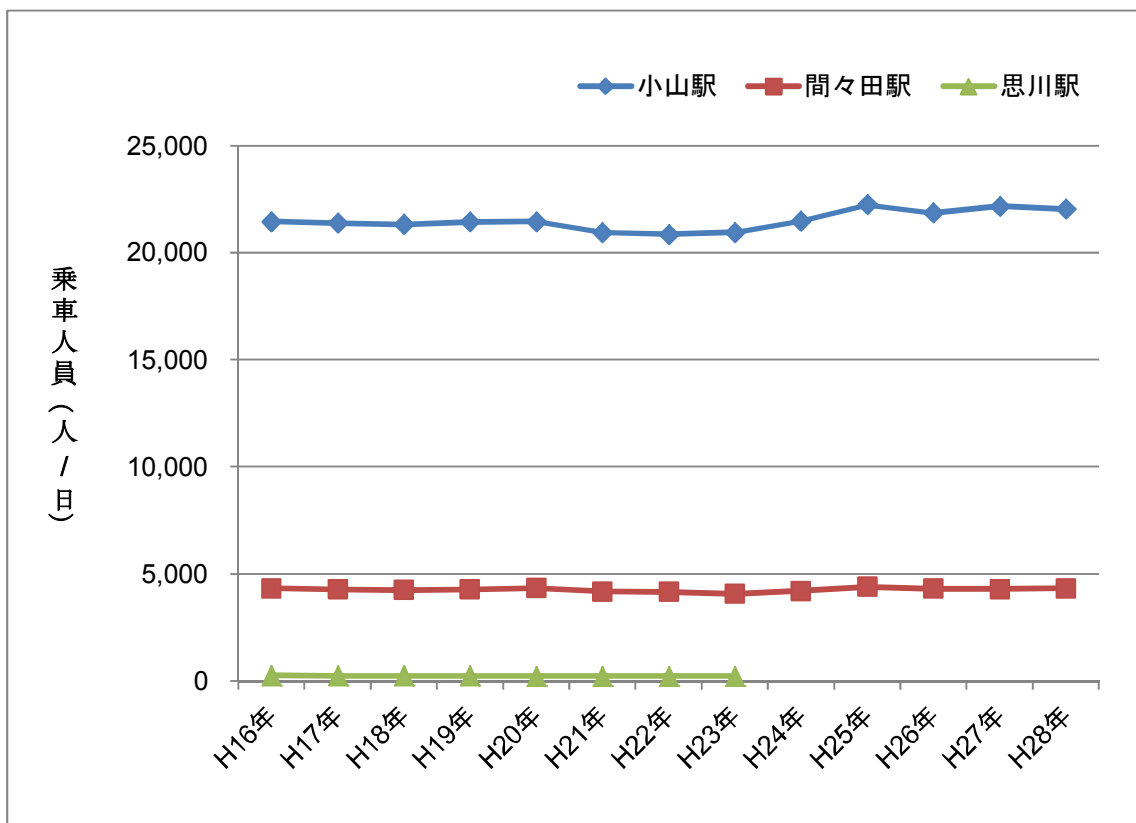
・鉄道駅は、両毛線・水戸線の始発駅であり、東北新幹線を含めた 4 路線全てが発着する小山駅、宇都宮線の間々田駅、両毛線の思川駅の 3 駅があります。

図 1 駅勢圏 (H22 小山市調査)



- ・ 駅別乗降客数の状況は、小山駅及び間々田駅の乗車人員数はほぼ横ばいの状況にあります。

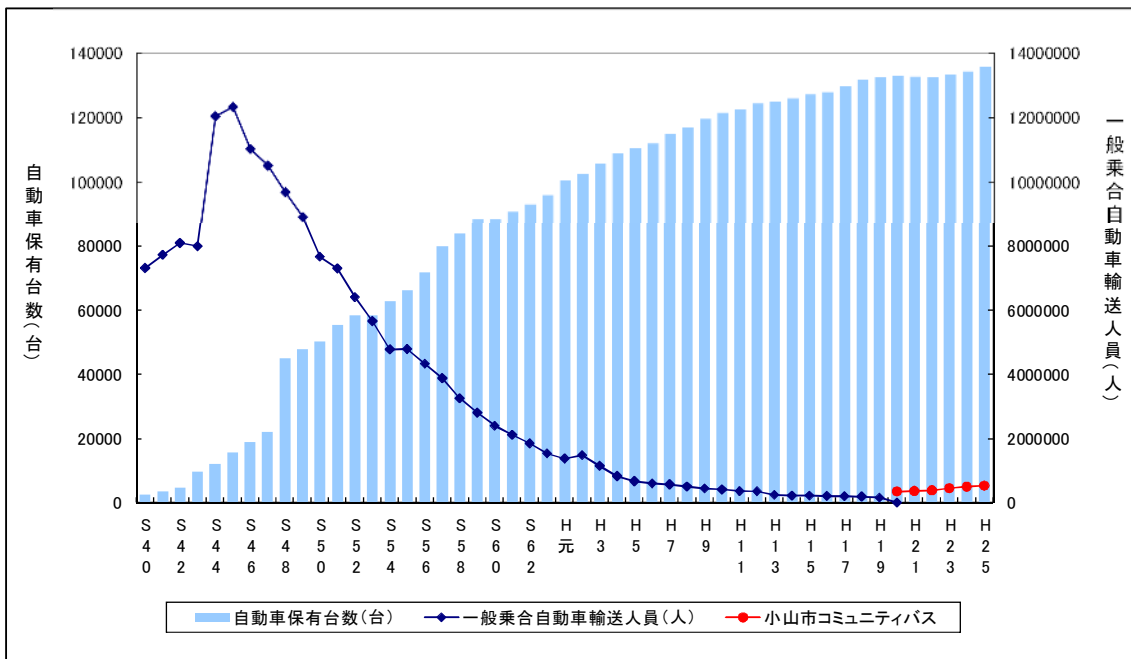
図2 乗車人員の推移
(JR 東日本 HP 1日平均乗車人員及び栃木県統計年鑑)



※栃木県統計年鑑では平成24年度以降駅員無配置駅を統計に含めていないため、思川駅の平成24年度以降はデータなし

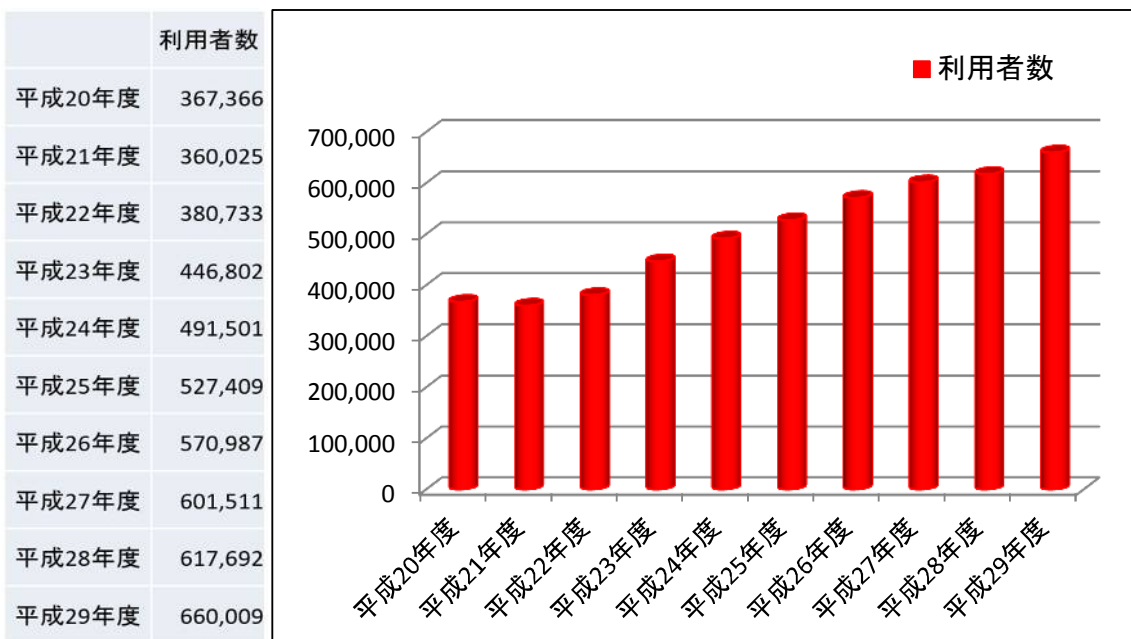
- ・自動車保有台数が増加し続ける一方で、一般乗合自動車の輸送人員が減っていきました。

図4 自動車保有台数と一般乗合自動車輸送人員の推移（小山市統計年報）



- ・コミュニティバスの利用者数は、年々増加しています。

図5 コミュニティバスの年間利用者数の推移

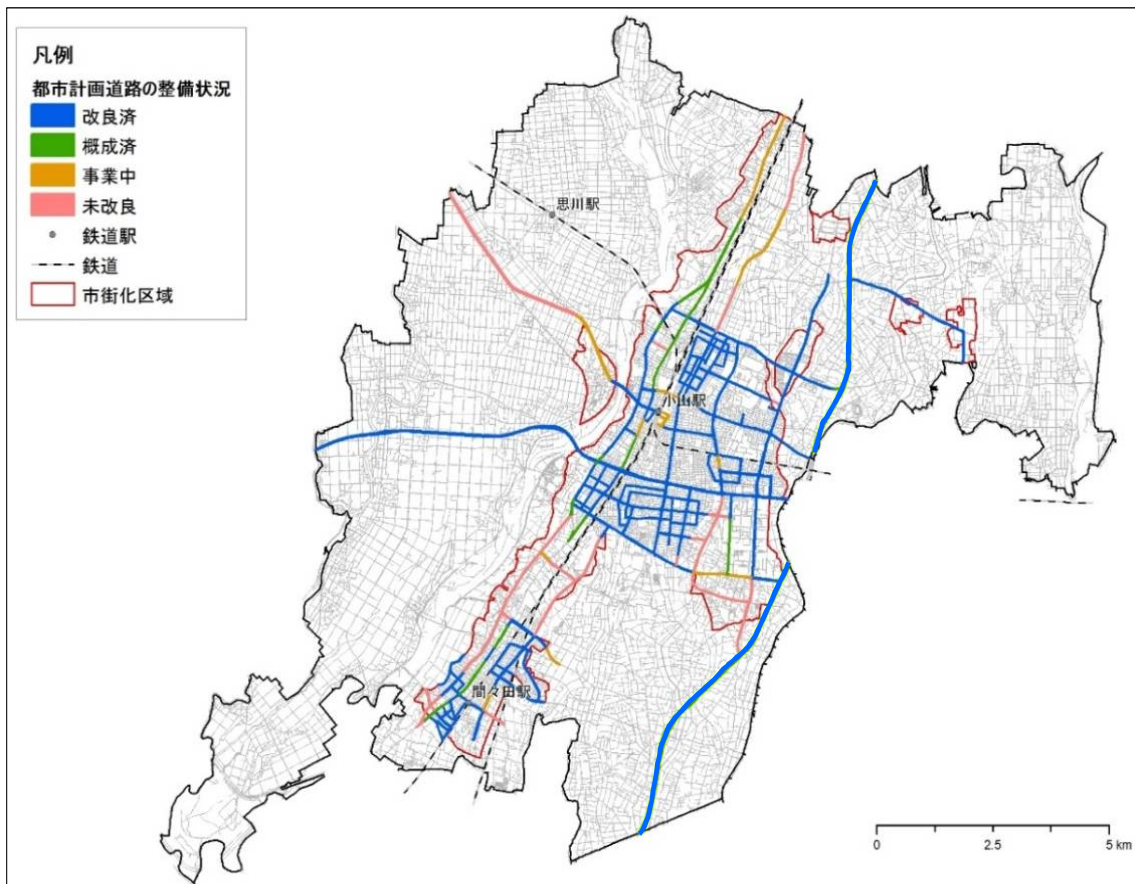


(2) 自動車交通の現況

① 都市計画道路整備状況

・小山駅、間々田駅周辺では改良済の路線が比較的多い状況です。

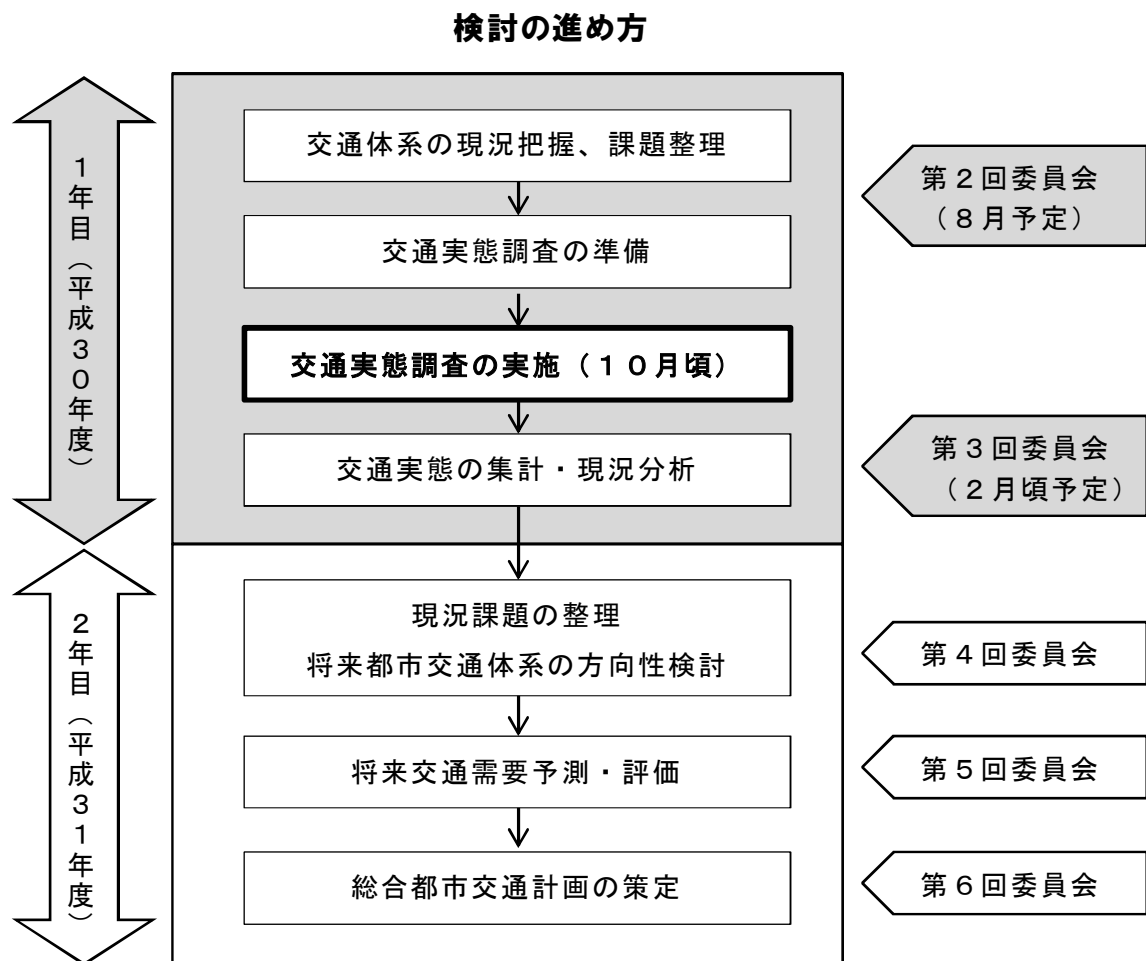
図6 都市計画道路の整備状況（小山市都市計画課資料）



3. 検討の進め方

平成 30 年度は交通実態を把握するために実態調査を実施し、その結果をもとに交通実態の現況分析を行ないます。平成 31 年度は、将来交通需要予測、総合都市交通計画を立案します。

これらについて、委員会を開催して検討を行ないます。



4. 実態調査の概要

① 調査日	平成30年10月予定
② 調査対象区域	小山市全域
③ 調査対象者	小山市内に居住する5歳以上の方 (住民基本台帳から無作為抽出)
④ 必要標本数	世帯：約 5,000世帯 個人：約10,000人
⑤ 想定有効回収率	27%
⑥ 配布数	世帯：約20,000世帯 個人：約40,000人
⑦ 調査項目	世帯票：住所、世帯構成員の属性性 (性別、年齢、職業など) 個人票：トリップ特性 (勤務・通学・通園先、始業時間、 出発・到着時間、目的、交通手段など)

※詳細につきましては、第2回委員会にて検討する予定です。

5. 今年度調査のアウトプットイメージ

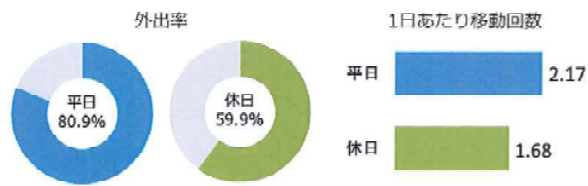
【参考】H27 全国都市交通特性調査（国土交通省都市局）

どなたでも
お使いいただけます

都市における人の動きデータ 使ってみませんか？

全国都市交通特性調査（国土交通省都市局）のご案内

1日の移動回数わかります



パーソントリップ調査とは
世帯や個人属性に関する情報と1日の移動をセットで尋ねることで、「どのような人が、どのような目的で、どこからどこへ、どのような時間帯に、どのような交通手段で」移動しているかを把握することができます。その名の通り、「人（パーソン）」に着目しているため、一つの交通手段だけでなく、公共交通、自動車、自転車、徒歩といった交通手段の乗り継ぎ状況を捉えることができます。

全国都市交通特性調査の調査方法
 ◎対象都市：全国70都市（全国概ね分析可能）
 ◎サンプル数：1都市当たり500世帯
 *2015年調査では約47,300世帯から回収
 ◎調査方法：住民基本台帳から抽出した世帯に対し、調査票を郵送。郵送もしくはウェブサイトにて回収。
 ◎調査対象日：2015年10～11月の平日・休日

移動手段わかります



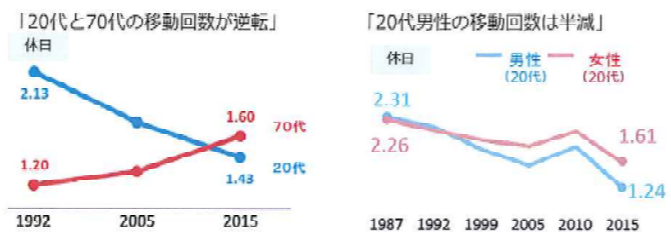
交通手段の分類
 「鉄道」、「バス」、「自動車」、「二輪車」、「徒歩」の5分類
 *「自動車」は、「運転」と「同乗」に分けられます。
 *「二輪車」は、「自転車」と「自動二輪車」に分けられます。

移動の目的が わかります

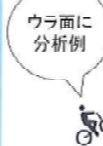


移動目的の分類
 「通勤」、「通学」、「業務」、「私用」、「帰宅」の5分類
 *「私用」は、「買物」、「食事」、「観光」、「送迎」、「通院」、「その他」に分けられます。

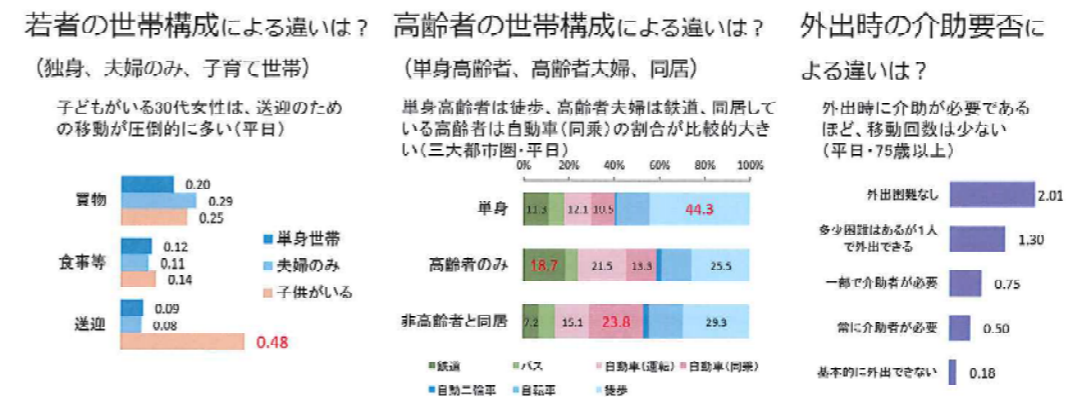
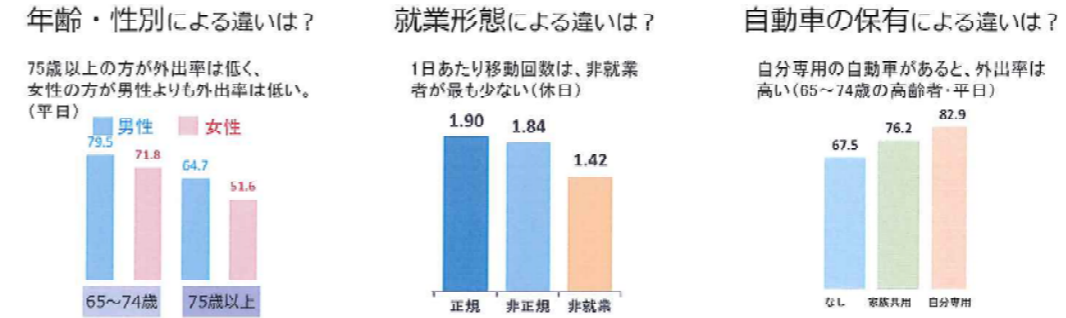
1987年以來、 30年の変化がわかります



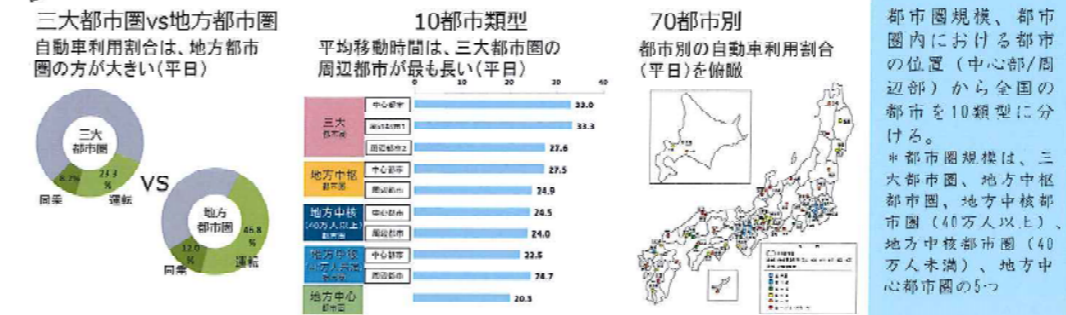
これまでの調査
 ◎1987年から概ね5年周期で実施（1987, 1992, 1999, 2005, 2010, 2015）
 ◎2015年調査は第6回
 ◎第1～3回は「全国都市パーソントリップ調査」、第4回からは「全国都市交通特性調査」



ポイント① 属性による違いもわかります



ポイント② 都市規模による違いもわかります



データの入手方法 ⇒ 国土交通省都市局HPにアクセス
http://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/toshi_tosiko_tk_000033.html
 「国土交通省」⇒「都市」⇒「都市交通調査・都市計画調査」⇒「全国都市交通特性調査(全国PT調査)」の「調査結果」より
 | 調査結果(とりまとめ) | 集計データ(基礎集計表・クロス集計データ・都市別指標) |

【お問い合わせ】
hqt-ptdata@ml.mlit.go.jp までお気軽に
 国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室

※ご希望の集計データが公開されていない場合はご相談ください
 (統計法32条及び33条に基づいて、調査票情報(マスタデータ)の提供ができる場合があります)